

平成二十四年二月十三日提出
質問 第七一 号

防衛省沖縄防衛局長による「講話」に関する再質問主意書

提出者 浅野 貴博

防衛省沖縄防衛局長による「講話」に関する再質問主意書

防衛省沖縄防衛局長の眞部朗局長が、沖縄県宜野湾市の市長選挙に関連し、同局の職員を集め、投票を呼び掛ける「講話」を行っていたことが明らかになった。右と「前回答弁書」（内閣衆質一八〇第三七号）を踏まえ、再質問する。

一 「講話」に関し、その趣旨や目的、過去の経緯、または我が国の民主主義に与える影響等について、「前回答弁書」では「現在防衛省においてその事実関係を調査中である。」との答弁がなされているのみである。右の防衛省における調査は、誰の責任によりどのような方法で行われているのか説明されたい。

二 一の調査はいつまでに終わられ、またその結果は誰によりどのような方法で公表される予定でいるのか説明されたい。

三 一の調査につき、田中直紀防衛大臣はどのような指示を出しているか。

四 一の調査は、透明性の高い形で行われているか。政府の見解如何。

五 「前回答弁書」では「講話」に関し、「同局長は沖縄防衛局職員に対する服務指導の一環として行ったものと説明している」との答弁がなされているが、右の「服務指導」は具体的にどのようなものがあるの

か、詳細に説明されたい。

六 本年二月十二日、宜野湾市長選挙の投開票がなされ、前沖縄県議会議員の佐喜真淳氏が初当選を果たした。右の選挙結果に対する政府の見解如何。

七 六の選挙結果に対し、「講話」は何らかの影響を及ぼしたか。政府の見解如何。
右質問する。